令和８年度　宇都宮市立上河内中学校　学校評価書

１　教育目標（目指す生徒像含む）

人間尊重の理念を基調とし，豊かな情操を備え，社会の変化に向き合いながら，常に目標を持ち，自ら学ぶ意欲を持ち続け，他と協働して粘り強く物事に取り組む心身ともに健康な生徒を育成する。　【校是：よく学び　よく鍛えよ】

☆　めざす生徒像	☆　めざす教師像	☆　めざす学校像
・学び鍛える生徒	・愛と情熱にあふれる教師	・楽しく学びあえる学校
・自他を尊ぶ生徒	・研きあう教師	・協に伸びる学校
・気力あふれる生徒	・実践する教師	・信頼される学校

２　学校経営の理念（目指す学校像含む）

（１）「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を進めながら，生徒が生涯にわたって成長し続けるための基盤となる，知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に努める。

（２）全教職員が，強い使命感と情熱をもって学校経営に参画し，学校教育目標の達成に向けて取り組むことで，生徒・保護者・地域の信頼や期待に応え，「地域とともにある学校づくり」に努める。

３　学校経営の方針（中期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に〇印を付ける。

「一人一人の生徒，教職員はかけがえのない存在である」との考えに基づき，学校経営を推進する。

（１）生徒を主語にした学校

生徒が主体となり，ルールづくりや学校生活の改善，行事の創造に取り組む活動や，生徒が興味・関心をもって探究する授業を通して，社会の変化が激しく，正解のない時代において，「よりよいものを創り出したり，導き出したりするためにはどうしたらよいか」を主体的に考え，多様な他者と協働しながら課題を解決しようとする力の育成を目指す。

（２）信頼される学校

全ての生徒が，安心して安全に学校生活を送ることができる教育環境づくりと開かれた学校づくりの推進を通し，「この学校なら安心して子供を預けられる」「この学校と一緒に子供を育てたい」と思われる学校を目指す。

（３）地域とともにある学校・特色ある学校

保護者や地域との円滑なコミュニケーションと連携を基盤とし，地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開するとともに，生徒の地域行事への参加等を推進することにより，地域とのつながりや故郷「上河内」を大切にする生徒を地域とともに育成する。

（４）教職員のウェルビーイングの向上

「先生が笑顔でなければ，生徒を笑顔にすることはできない」という視点に立ち，業務の効率化や業務量の管理，勤務時間の適正化，健康確保措置，部活動の地域展開等を推進することにより，生徒と向き合う時間や自らの授業を磨く時間の確保に努めるとともに，「働きやすい職場」「働きがいのある職場」の実現を目指す。

【上河内地域学校園教育ビジョン】
かしこく，たくましいゆずっ子の育成　～基本を身に付け，人とつながり，夢に向かって生きる子どもを育てよう～

４　教育課程編成の方針

（１）基本方針

教育基本法・学校教育法等の法令及び学習指導要領に基づき，上河内特有の地域性や生徒，学校の実態等を考慮し，生徒の心身の発達段階に応じた編成を行う。

（２）留意点

①学校の教育目標や「めざす生徒像」，各教科の目標・ねらいとの整合性を図る。
②学習指導要領で示されている各教科等の授業時数を確保する。
③「総合的な学習の時間」において，教科等横断的な視点に立った追究活動の推進や発表をめざした学習を進める。
④学校評価との関連付けを図り，ＰＤＣＡサイクルを機能させたカリキュラムマネジメントを行う。
⑤地域協議会等との連携を図るとともに「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす。

５　今年度の重点目標（短期的視点）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に〇印を付ける。

～　授業・行事・生徒会を核とした生徒が主語の学校づくり　～

（１）学校運営

①生徒を主語にした学校
- 生徒一人一人のよさを認め，励まし，伸ばす教育の推進
- 生徒が主体となり，ルールづくりや学校生活の改善，行事の創造に取り組む活動の充実
- 生徒が興味・関心をもって探究する授業の実現

②信頼される学校
- 安心・安全な教育環境の整備及び安全に関する指導の充実と安全体制の確保
- 生徒一人一人に寄り添った支援の充実

・教職員の服務規律の確保及びコンプライアンス意識の向上
③地域とともにある学校・特色ある学校
・地域の伝統行事への積極的な参加と報告会等の実施
・地域の教育力を活用した体験活動の充実
・各種たよりの発行と地域や家庭への配付，学校ＨＰの活用等による積極的な情報発信
④教職員のウェルビーイングの向上
・業務の効率化や業務量の管理，勤務時間の適正化，健康確保措置の実施，時間外在校等時間の削減，リフレッシュデーの設定
【目標：時間外在校等時間が１か月８０時間を超える教職員の人数０人を目指す（R９年度末】
・部活動の地域展開等の推進
・「働きやすい職場」「働きがいのある職場」の実現
（２）学習指導
①「わかった」「できた」を実感できる授業の展開
②生徒が興味・関心をもって探究する授業の実現
③根拠をもって自分の考えや意見を表現する活動の充実
④授業中の学習態度や家庭学習の習慣化に向けた指導の充実
⑤特別支援教育の視点を取り入れた授業の充実
⑥ＯＪＴ・研修等を通した教師の授業力向上に向けた取組の継続
（３）児童生徒指導
①生徒一人一人に寄り添った支援の充実
○②自己肯定感・自己有用感の涵養と，自ら考え，正しく判断し，責任をもって実行できる自己指導能力の育成
③特別な配慮や支援が必要な生徒への対応及び不登校対策の充実
④いじめを生まない指導・支援の充実及び情報モラル教育の強化
⑤豊かな心や創造性の涵養
（４）健康（保健・食・安全）・体力
○①地域学校園小中一貫カリキュラムを踏まえた，進んで運動に取り組む環境づくりと体力向上の推進及び運動生活の習慣化
○②地域学校園で連携した保健指導の推進
○③給食や食農体験等の充実による地域の特色を生かした食育指導の推進
④安心・安全な教育環境の整備，安全教育の充実による自身の安全を守るための判断力や実践力の育成及び安全体制の確保

６　自己評価　A1～A20は市共通評価指標　B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充　B継続　C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第２次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評　価
１－（１）確かな学力を育む教育の推進	Ａ１　生徒は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「私は，学習課題を解決するために，友達と話し合ったり必要な情報を集めたりしながら，じっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒生徒肯定回答 80%	①本時のめあてを分かりやすく具体的に提示し，見通しをもたせる授業を展開するとともに，めあてに対する振り返りをさせる。 ②○必要に応じて，授業の中で話し合い活動を取り入れるなど，主体的で対話的な学習が進められるような学習形態を工夫する。 ③○家庭学習の習慣化と内容の充実を図るために，取り組み方を図書委員や放送委員と連携して示したり，グーグル・クラスルームに提示したりして啓発する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

1－（2）豊かな心を育む教育の推進	Ａ２　生徒は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「私は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒生徒肯定回答 80%	①〇受容・共感・傾聴等の大切さについて指導する。 ②〇相手に対してどのように伝わるかなど，相手の心情を考えて話すよう意識させる。 ③生徒会主催のいじめゼロ集会などを通して，生徒の思いやりに対する意識を高める。 ④〇道徳の授業や日々の生活において，時と場に応じた言動や相手への思いやりについて生徒に考えさせ，意識を高める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ３　生徒は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「私は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる」 ⇒生徒肯定回答 80%	①各学級で，１年間の学級目標を設定し，定期的に振り返り，目標に向かって取り組むことを意識させ，達成感を味わわせる。 ②定期テストにおいて，テスト計画表を作成させる際に，数値目標など具体的な目標を設定させ，計画的に取り組ませる。 ③学校行事等において，生徒同士が目標に向かって協働する姿を積極的に認め励ます指導や，事後の振り返りを通して，生徒の自己肯定感を高める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
1－（3）健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	Ａ４　生徒は，健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】全体アンケート「私は，健康や安全に気を付けて生活している。 ⇒生徒肯定回答 80%	①保健だよりや健康委員会による活動を通して，健康な生活について啓発をする。 ②〇新体力テストの結果を基に，不足している基礎体力作りに取り組む。体育の授業では計画的に補強運動を取り入れ運動量の増加を目指す。 ③自転車通学の生徒が多いので，登校指導や自転車点検，交通安全教室などの活動を通して，自転車の正しい乗り方，交通安全の意識を高める指導を徹底する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
1－（4）将来への希望と協働する力を育む教育の推進	Ａ５　生徒は，自分のよさや成長を実感し，協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】全体アンケート「私は，自分の良さや考えを生かしたり，周りと協力し合ったりして，進んで生活をよりよくしようとしている。 ⇒生徒肯定回答 80%	①学級活動の時間を用いてキャリアパスポートを活用したり，自己の活動を振り返らせたりすることにより，新たな学習や生活への意欲につなげ，将来の生き方を考えさせる。 ②各学年で自らの個性を把握し，把握した個性を生かすという視点で進路指導を行う。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
2－（1）グローバル社会に主体的に向き合い，郷土愛を醸成する教育の推進	Ａ６　生徒は，英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】全体アンケート「私は，英語の授業やALTとの交流の際に，英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒生徒肯定回答 80%	①〇英語科の授業で、会話形式の実践的な練習と語彙力の育成を図る。 ②〇チームティーチングの授業で，T1とT2が英語でのやりとりのモデルを多く見せることにより，生徒に自然とやりとりの仕方を身に付けさせる。 ③ALTが給食や昼休みの時間に生徒と会話を楽しむ機会を設ける。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ７　生徒は，宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート「私は，宇都宮の良さをしっている」 ⇒生徒肯定回答 80%	①地域の良さを知るために，地域の人と一緒になって行事に参加することにより「郷土愛」を育む。 ②総合的な学習の時間において，宇都宮学に取り組むことで郷土の良さを再認識させる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

2－（2） 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	Ａ８　生徒は，デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケート「私は，パソコンや図書等を学習に活用している」 ⇒生徒肯定回答 80%	①各教科や総合的な学習の時間において，タブレットやプレゼンテーションソフトを利用して，調べ学習や発表に取り組ませる。 ②調べ学習において，積極的に図書館を利用する。また，教科においても，授業で図書の活用を進める。 ③クロムブックの AI ドリルやまなびポケットなどの学習用アプリケーションを授業で積極的に利用させる。	A	【達成状況】 【次年度の方針】
2－（3） 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育む教育の推進	Ａ９　生徒は,「持続可能な社会」について，関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「私は，環境問題や防災等の持続可能な社会について，関心をもっている」 ⇒生徒肯定回答 80%	①生徒会専門委員会を通して，節電やリサイクルによる再利用についての呼びかけや，回収活動を実施することで，生徒の関心を高める。 ②授業や学校行事を通して，「持続可能な社会」や「ＳＤＧｓ」について理解を深めさせ，身近なものと関連させる。 ③避難訓練等を通して，火災や自然災害の対策を身に付けさせ，自ら考え行動する「生きる力」の育成を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3－（1） インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	Ａ10　教職員は，特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて，適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は，特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて，適切な支援をしている」 ⇒教職員肯定回答 90%	①特別な支援を必要とする生徒の実態を把握し，校内支援委員会を実施し，共通理解を図る。 ②生徒指導係会や教育相談係会等を定期的に行い，生徒に対する支援の共通理解を図る。 ③ＳＣやＭＳ等と連携を図り，ステップルームの利用など，個に応じた対応に心掛ける。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3－（2） いじめ・不登校対策の充実	Ａ11　教職員は，いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「先生方は，いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒生徒肯定回答 90%	①〇休み時間の巡回指導や教育相談，嫌な思いアンケートを活用して，いじめを早期に発見する取り組みに努める。また，生徒の不適切な言動に対して細かな声掛けを行う。 ②〇いじめに対しては，いじめ対策委員会で組織的かつ迅速に対応する。 ③〇保護者会やＨＰ，各種だより等で取組を周知する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	Ａ12　教職員は，不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方は，一人一人を大切にし，生徒がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒生徒肯定回答 80%	①〇教育相談係会において，不登校傾向の生徒について，ＳＣ，ＭＳと連携した対応を検討し，全教職員が共通理解の下，支援に当たる。 ②〇Ｑ-Ｕの結果や日記指導（宮っ子ダイアリー），エンカウンター等を実施することで，学級集団としての状態や，生徒一人一人の意欲や満足感を把握し，学級経営に生かす。 ③〇自尊感情を高めるような声掛けを全教職員で実施する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
3－（3） 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3－（4） 多様な教育的ニーズへの対応の強化	Ａ13　学校は，一人一人が大切にされ，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】全体アンケート「先生方は，困ったときに相談に乗ってくれたり，問題を解決しようとしたりして，私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている。 ⇒生徒肯定回答 80%	①学校行事や生徒会活動が感動ある活動になるように，生徒が主体的に企画・運営・参加できるように指導する。 ②生徒が自ら考える機会を数多くつくり自主的活動を充実させ，生徒一人一人が達成感や自己肯定感を得られるような集団づくりを推進する。 ③エンカウンター等の人間関係を円滑にさせる取組を充実させるなど，居心地の良い学級づくりを推進する。 ④多様な教育的ニーズを意識し,生徒や保護者への適切な支援に心掛ける。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

4－（1） 教職員の資質・能力の向上	A14　教職員は，分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い，学力向上を図っている。 【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は分りやすく，一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒肯定回答 80%	①ＴＴや習熟度別学習などの少人数指導の工夫により基礎・基本の定着を図り，本時のめあてを明示し振り返りを記入させることにより，「分かる授業・できる授業」を目指し，指導法の改善に努める。 ②〇「表現力を高め，自分の考えを深め合う授業」をテーマとした「一人一授業」を実践し，個々の教員の授業力向上を図る。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
4－（2） チーム力の向上	A15　学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり，協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員肯定回答 90%	①職員間で円滑なコミュニケーションを心がけるとともに，全体で共有したことを確認しながら業務を遂行する。 ②教職員が互いのよさを認め合いながら，学校行事の準備・運営や諸問題への対応を互助的，組織的に行う。 ③各種部会・委員会を定期的に開催し，リーダーを中心にそれぞれが機能する体制づくりに努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
4－（3） 学校における働き方改革の推進	A16　勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート「私は，教職員の勤務時間を意識して，業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員肯定回答 80%	①学校経営方針に基づき教育活動を実践するとともに，教職員が担う業務の明確化・適正化を検証する。 ②職員会議や校務運営委員会での協議と報告を分け，会議等の効率化・適正化を図り，会議の勤務時間内終了に努める。 ③宇都宮市部活動の指針に基づき，各部活動が適正な計画を立案し，活動時間の見直しなど望ましい部活動の在り方を実践する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	A17　生徒と向き合う時間を確保できている。 【数値指標】全体アンケート「私は，生徒と向き合う時間を確保できている。」 ⇒教職員肯定回答 80%	①業務の効率化に取り組むことで，昼休みや放課後等を活用し，生徒の悩み相談や，委員会活動，部活動指導等，生徒と向き合う時間を確保する。 ②業務効率化に取り組むことで，教材研究や委員会活動・学校行事等の準備の時間を確保する。		【達成状況】 【次年度の方針】
5－（1） 全市的な学校運営・教育活動の充実	A18　学校は，「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は，地域学校園の小学生や中学生，先生と，授業や行事，掲示物などで交流する活動を行っている」 ⇒生徒肯定回答 80%	①〇地域学校園内小中学校間の連絡・調整等を密に行い，小中合同あいさつ運動や進学先中学校訪問等における活動の充実を図る。 ②〇小中一貫教育においての「『ゆずっ子』の学びの５つの約束」の内容を再確認し，周知・徹底を図る。 ③〇小中一貫の各種取組状況を，各種便りやホームページ等で発信する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
5－（2） 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5－（3） 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A19　学校は，家庭・地域・企業等と連携･協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は，家庭・地域・企業等と連携・協力して，教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者肯定回答 80%	①家庭や上河内中学校地域協議会などと連携し，地域学校園の諸活動と関連させながら，農園活動や読み聞かせなどの地域人材を活用した諸活動を推進する。 ②〇望ましい礼儀やマナーを育成するため，あいさつ運動や場に応じた適切な言葉づかいの標語募集等の取組や日常的な指導を，地域学校園内小・中学校及び地域協議会が連携・協力して行う。 ③特産品のゆず，羽黒山などの地域の特色を生かした取組を，地域協議会をはじめ，地域住民や企業等と連携して展開する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

６－（１） 安全で快適な学校施設整備の推進	Ａ20　学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケート「学校は，利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者肯定的回答 80%	①安全指導係を中心に全教職員で，校内安全点検を定期的に実施し，校内の安全確保に努める。 ②管理職や事務，学校業務担当（機動班）が連携を図り，施設等の迅速な修繕に努める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
６－（２） 学校のデジタル化推進	Ａ21　コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から，授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】全体アンケート「私は，授業(授業準備も含む)や業務の改善に，デジタル機器を積極的に活用している。 ⇒教職員肯定回答 80%以上	①ＩＣＴ機器を活用するために校内研修等を行い，スキルアップを図る。 ②授業担当と司書が連携し，クラスルームに参考資料リストを載せ，授業で紹介する。（パスファインダー）	B	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校，地域学校共通，本校の特色・課題等	Ｂ１　生徒は，時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「私は，時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒生徒肯定回答 90%	①〇生徒会や教職員･PTA によるあいさつ運動を活発に行い，指導の充実を図る。 ②〇教職員が率先してあいさつをすることで，学校全体があいさつをする雰囲気を高める。 ③〇あいさつ標語の募集を行い，率先してあいさつをす る意識を高める。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
	Ｂ２　生徒は，きまりやマナーを守って，生活をしている。 【数値指標】全体アンケート「私は，きまりやマナーを守って，生活している。」 ⇒生徒肯定回答 90%	①〇学級活動や生徒会活動，学校行事を通して生徒と対話のできる関係と雰囲気づくりを推進し，マナーを守って生活することの大切さを指導する。 ②〇５分前行動，２分前着席や指名・指示されたときの返事を徹底する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】
地域学校共通	Ｂ３　生徒は，上河内地区のお祭り，催事，作品募集などの地域行事(梵天祭りやふれあいまつり，文化交流祭等)に参加し，交流している。 【数値指標】全体アンケート「私は，上河内地区のお祭り，イベント，標語や写真展の作品募集などの地域行事(梵天祭りやふれあいまつり，文化交流祭等)に参加し，交流している。」 ⇒生徒肯定回答 80%	①生徒が地区の催事にボランティアとして参加したり，作品を出品したりするなど，地域と交流を図る。 ②〇郷土愛や愛国心を育てるため，生徒に梵天祭等への参加を促すとともに羽黒山等の清掃活動「羽黒山ボランティア」等を実施する。 ③地域との交流活動の様子を，各種便りや学校ホームページ等で発信する。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

本校の特色・課題等	Ｂ４　生徒は，総合的な学習の時間等では，学んだ知識や技能を生かし，協力してまとめたり，分かりやすく発表したりすることができている。 【数値指標】全体アンケート「私は，総合的な学習の時間では，学んだ知識や技能を生かし，協力してまとめ，分かりやすく発表することができた。 ⇒生徒肯定回答 80%	①調べ学習（ＩＣＴ機器や学校図書館等の利活用）に必要な，情報を集めたり活用したりする技能を高めさせる。 ②グループ内で意見を共有するために，canva 等のアプリケーションを活用させる。 ③協働する学習を通して，コミュニケーション能力を高めさせる。 ④様々な教科で自分の考え等を発表する活動を行い，発表力を高めさせる。	B	【達成状況】 【次年度の方針】

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7　学校関係者評価

8　まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。